

## 埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図) - 2016年7~9月期 -

調査対象：県内企業 567 社

調査方法：アンケート方式 (8月中旬 郵送回収)

回答企業：260 社(回答率 45.9%)

業種別内訳：製造業 156 社 非製造業 104 社

### 概況

今回の産業天気図は、円高や世界経済の減速の影響を受け、国内景気の足踏みが続き、晴れ間がのぞくところもあるが、雨も残り、厚い雲に覆われている。

製造業では、加工組立型産業が持ち直したものの、素材型や生活関連型が後退し、ほぼ横這いとなっている。こうした中、今回天気に変化した業種は電子部品・デバイスである。新製品立ち上がりによりスマホ部品の需要が持ち直しているほか、自動車の電装用部品向け半導体などの需要が堅調で、「曇り」へ好転している。

非製造業では、不動産が、相続対策による賃貸住宅の供給増に伴う空室増加や、割高感による中古住宅の需要鈍化を背景に、「曇り一部雨」へ後退している。

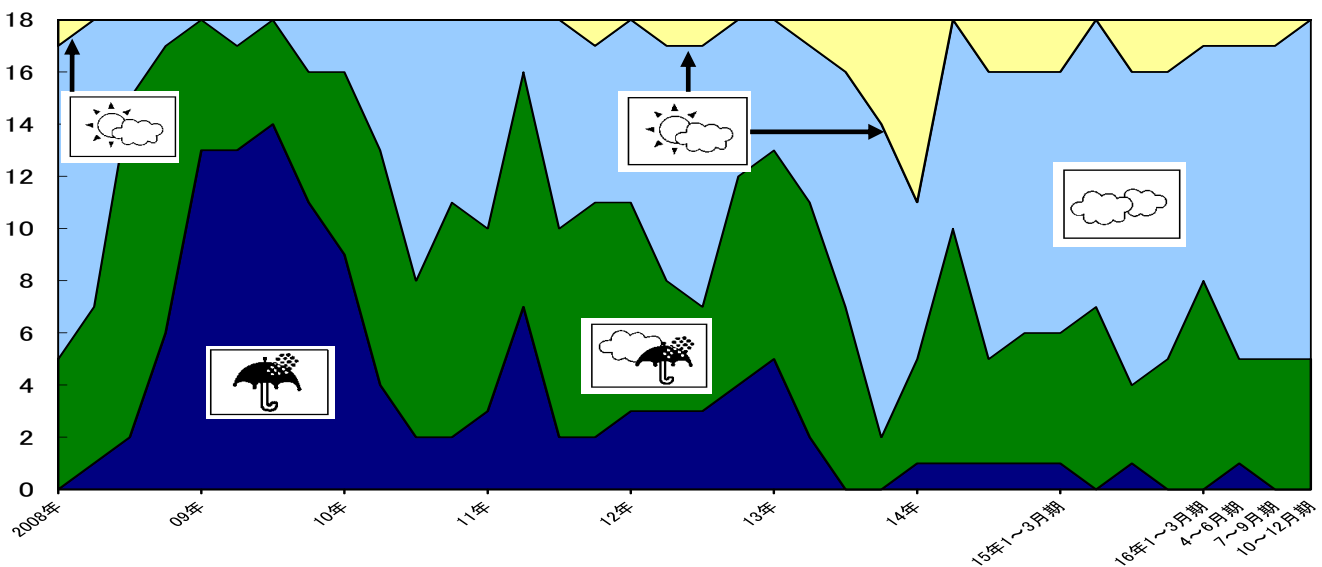
先行きについては、非製造業では天気図の変化がなかったものの、製造業では、飲・食料品で、季節需要の一段落に加え、厳しい商品開発競争や価格競争の影響から、「曇り」へ後退する見通しである。全体として「曇り」が広がる見通しである。

天気図別の業種数

区分	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
2016年 4~6月期(前回)	0	1	12	4	1
2016年 7~9月期(今回)	0	1	12	5	0
2016年 10~12月期(先行き)	0	0	13	5	0

産業天気図

(業種数)



(注) 天気マークと BSI 基準の目安

天気マーク	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
BSI	100 以下~50 以上	50 未満~20 以上	20 未満~-20 超	-20 以下~-50 超	-50 以下~-100 以上